



当日のマダコ仕掛け

●Tackle Guide
根が荒くて良型がそろそろポイントならテイヤの手釣りがおすすめ。そうでなければ餌木の竿釣りでよい。先糸はなくともいいが、タコを取り込む際の目安にはなる。

などその都度アナウンスしてくれるが、ポーンとキヤストして一発根掛かりは打つ手がない。

誘い方が違った!?
曇天だが海はナギで絶好の釣り日和だ。釣果を得ていたから、お昼ご飯もおいしい。昼ごろには根岸湾内の奥深くに入った。岸から離れたポイントだが「仕掛けを投げな



▲東京湾のマダコもいよいよ追い込みだ

そろそろ正月用の食材が気になるころだ。毎年お節料理と生きナマコは買うにしても、プラスチックの自前調達はタコとスマイカにハゼってところかな？

釣れたのはうれしいが...
夏ダコ釣りが終盤にモヤモヤって感じで終わったこともあり、様子見に11月15日の早朝、本牧へと車を走らせた。親方や息子船長たちに話を聞くと、9月に発生した悪い潮(青緑色)で色んな魚が浮

そろそろタコを釣りたい季節 年末にはサイズアップに期待

●東京湾奥横浜本牧発↓富岡沖 本誌ADC(神奈川)平林 潔 Kyoshi Hirabayashi

いて、タコもずいぶんと死んでしまったとか。その後には卵からかえって育ち始めた赤ちゃんダコがやつと育ってきたという。前日には1キロ超えも2杯出たようだ。
例年なら夏ダコが育って2キロ、3キロもの大型も出る冬ダコシーズンなのだが、そういった事情で今釣れているのは産卵期後半に生まれたタコのようなのだ。
当日は僕を含めて4名が乗船。操船するのは弟の長崎昭船長で、左舷での片舷釣りとなった。
8時半ごろに出船した船は港を出て少し走り、まずは近場の護岸を中心に探る。それにしても、護岸ギリギリを流す操船技術はスゴイ！ 職人技だよ。

●船宿information
東京湾奥横浜本牧
長崎屋
☎045-622-8168 (詳細は巻末の情報欄参照)
▶料金=マダコ乗合一人 9500円、女性高校生 6000円、小学生 5000円
▶備考=手釣り糸とタコテナヤは無料貸し出し。テナヤ紛失時は700円負担。カニエサ無料。タコネットは有料販売。洗濯ネット持参がおすすめ。必要なら氷は持参

長崎 昭船長

護岸の際に餌木仕掛けをキヤストして、シヤカシヤカと躍らせてからスツとシヤクついでください」と船長がアナウンスした。たぶん根が荒いかポイントが狭いかだろう。すぐに大ドモの常連氏がタコを釣り上げた。急いで画撮りをしたが、続けて連チャンで2杯目もゲット。
タコ釣って、こんな感じで釣れた人に続けてくるパターンが多い。誘いのリズムが合っているのか？ ポイントの問題なのか？ 不可解だが、そんなことが普通にある。
1時間前にはお隣さんも2杯目をゲット。これは根の荒い護岸ポイントで釣ったもので、800グラムあった。
これで2杯ゲットが3名。あと一人の方が釣れば、昨日同様に全員安打となる。
1時ごろからは、沖の平場を絨毯爆撃のように何度も流した。根掛かりはほぼ心配ないポイントなのだが、なぜか僕は根掛かり連発。
ここで、左隣氏が怒涛の3連発！ 一気に5杯まで数をのばしたからすごい。
後からよく考えてみれば、お隣さんの釣り方はユーラ、ユーラと緩やかに餌木を躍らせながら船の流れに任せて底を引きずり気味に誘う釣り方だった。
逆に、僕はなんとか釣ろう

と派手に餌木を躍らせるスタイル。それがよくなかったのかも知れない。釣ろうとする、あの手この手でシヤカシヤカやってしまう気の短さを反省！
2時半ごろに納竿となったが、ゼロが1人出てしまったのが残念だった。
大型が出れば、カニエサのテナヤで釣ろうと思っていたが、出番はなかった。
ただ、状況は決して悪くはない。もともと冬ダコ釣りはこんな感じだった。大型交じりの良型主体じゃないのがちよつと寂しいが「一潮ごとに大きく育つ」と言われるタコのことだから、年末にかけて期待しよう。

て船下までを探る。ズルズル引きずると一発で根掛かりしてしまう。
当日の1投目でモタッ、ズンときたからオオツとテンションが上がった。船長もタマ網を用意したが、なんと布雑巾ごみ。ホント、雑巾ってタコにそっくり。
これにめげずに護岸際にキヤストしてシヤカシヤカやる。とすぐにズーン。水深は3、4メートルそこそこだが、ユラッと浮いてきたのは間違いないタコだ！
500グラム級の1杯目をゲットして幸せな気分。開始早々のことだから、気分はうんと楽になった。
船長は転々と護岸のポイントを探る。ここぞというポイントでタコを拾うという釣りだ。実は、僕は沖のポイントを流す釣りよりも、こういった釣りのほうが好き。アイナメのプラクリ釣りのようにワクワクしてくる。
数カ所目のポイントで、護岸スレスレにキヤストしてシヤカシヤカするとモタツときて先ほどよりやや大きい2杯目をゲット。9時前に2杯ゲットとは上出来すぎる。
ただ、取材釣行なのでほかの人が釣ってくれないと画撮

りが厳しい。うーん……。
9時過ぎになって、お隣さんが僕と同級のタコを釣り上げた。とてもうれしそうだったが、僕もホツとする。
9時半ごろからは富岡方面に移動して、付近の護岸を探った。
この付近はメチャクチャ根が荒くて、餌木をいくつ失った。船長は「根掛かりがすごい」とか「根掛かりにちよつとだけ注意」とか「平場だから根掛かりは大丈夫」など

知得! Tips and Tricks
マダコ釣りの必需品

タコ釣りに砥石(シャープナー)は必需品だ。ハリ先が根に触れて、すぐに甘くなってしまう。よく見るとハリ先が曲がっていたりもする。ハリ先を親指の爪に当てて、スーッと滑るようではダメ。研ぎ方は、ハリ先から根元方向へと研ぐのが基本。ハリ先方向へ研ぐと、ハリや返しが残ったりハリ先が曲がったりするからだ。
▲テナヤも餌木も、研ぐときは根元方向へシャープナーを動かす